

達成度：H29.3.31 の自己評価

- 5 目標を完全に達成した。
- 4 目標を概ね達成した。
- 3 目標を一部達成した。
- 2 目標をほとんど達成できなかった。
- 1 目標をまったく達成できなかった。

上下水道課の目標（平成28年度）自己評価書

上下水道課長 板垣 一成

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p>1 水道施設の整備および維持管理（工務班） 老朽管の更新及び管路施設の更新強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創設当時の配水管、耐用年数を経過した配水管及び一部給水管の更新を計画的に実施します。 ・浄水場施設等の点検及び老朽施設の更新を実施します。 <p>2 公共下水道の整備及び維持管理（工務班） 未整備地域への污水管整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既認可区域である馬橋地区・飯積地区の污水管整備のための調査・設計を実施します。 ・本佐倉地区を新たに認可区域とし、污水管整備のための調査・設計を実施します。 ・下水道施設長寿命化計画を策定します。 ・下水道事業計画（現認可：平成30年度）の認可区域拡大を行います。 <p>3 ミネラルウォーターの販売（業務班） 酒々井町の水道水のおいしさをもっと広く皆様に知っていただくため、ペットボトル水「しすいの水」を販売します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・500ml のペットボトル詰めミネラルウォーターを災害時用に備蓄するとともに、ハーブガーデン、JA成田市酒々井販売所、ちびっこ天国、東関東 	<p>4</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>3</p> <p>5</p> <p>5</p> <p>5</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した配水管及び給水管について、耐震性のある管種へ更新し、施設の強化を図りました。 ・浄水場施設の計画的な点検を実施すると共に、取水施設の情報盤機器等を更新し、施設間ネットワークの安定化に努めました。 ・次年度の工事区域における調査・設計を実施しました。 ・次年度の工事区域における調査・設計を繰越事業として発注しました。 ・下水道施設長寿命化計画を策定しました。 ・下水道事業計画の認可区域の拡大を行いました。 ・500ml のペットボトル詰めミネラルウォーターのラベルを新たなデザインとしたことで、広報活動を多様なシーンにおい

<p>自動車道酒々井パーキング、大谷屋酒店、しすいの森パークゴルフ場、ナリタヤ酒々井店、(株)伊藤園の自動販売機等において販売します。また、新規販路の開拓に努めます。</p> <p>4 チャレンジ目標</p> <p>(1) 水道管漏水(事故)の抑制</p> <p>(2) 町水道ビジョンの策定</p> <p>・現在、配水管延長は約125kmあります。今後、老朽化施設の更新が必要となる中で、安心・安全で災害時でも安定した水の供給を行うために、水道事業の現状と将来の見通しを分析・評価し、長期的計画の策定に取り組む必要があります。そこで、厚生労働省が推奨する水道事業ビジョンを策定します。</p>	<p>4</p> <p>5</p>	<p>積極的に進めることができ、「酒々井の水」を多くの方々に知っていただくことができました。また、新規販路としてセブンイレブン・ジャパン(一部店舗)でも取り扱っていただくことができました。</p> <p>(1) 計画的な老朽管の更新により漏水事故を未然に防ぐよう努めた結果、大きな事故の発生はありませんでした。</p> <p>(2) 長期的な事業運営を目指し、水道事業ビジョンを策定しました。</p>
---	-------------------	--